第32回標茶町アイスストッカー大会開催要項

１．趣　　旨　スポーツの原点である楽しさを追求し、みんなが「だれでも」「どこでも」「いつまでも」気軽に参加することができ、スポーツを通じて冬の寒さを克服し、ニュースポーツの普及と振興を図り交流と親睦を深めることを目的とする。

２．主　　催　標茶町教育委員会

３．主　　管　標茶町スポーツ推進委員の会

４．協　　力　茶安別スポーツ協会

５．協　　賛　雪印メグミルク株式会社磯分内工場
明治安田生命保険相互会社釧路支社釧路駅前営業所

６．日　　時　令和９年　１月２４日（日）※悪天中止
（当日午前７時３０分までに判断し、各チーム代表者へ連絡します）

代表者会議	午前　８時５０分　～
開会式	午前　９時００分　～
説明会及び練習時間	午前　９時２０分　～
競技開始	午前　９時３５分　～
閉会式	午後１２時３０分（予定）

７．会　　場　標茶町野外アリーナ（標茶町常盤９丁目１４番地）

８．参加対象　中学生以上

９．競技部門　一般の部（中学生以上）

１０．チーム登録　選手４～６名（ゲームは４名で出場・選手交代はセット毎に自由）

１１．チーム数　最大２４チーム

１２．競技方法　別紙のとおり

１３．表　　彰　１位～３位まで表彰します

１４．参加料　無料

１５．申込方法　ポスターやホームページに掲載されてるＱＲコードにてお申込みください。

申込みＱＲコード

１６．申込先　標茶町川上 10 丁目 47 番地標茶町農業者トレーニングセンター内
標茶町教育委員会社会教育課スポーツ係
電　話：015-485-2434　　ＦＡＸ：015-485-0005
メール：k_hoken@town.shibecha.lg.jp

１７．申込期日　<u>令和９年　１月１２日　(火)</u>

１８．組み合わせ　事務局で抽選を行い、当日発表します

１９．競技規則　アイスストッカー標茶大会競技規則による。競技状況等により、規則の一部を変更する場合があります。

２０．そ の 他　・練習または用具の貸し出しを希望される方は、農業者トレーニングセンターへお問い合わせください。
・怪我に備えて傷害保険に加入していますので、万が一怪我が発生しましたら、速やかに事務局へ報告願います。また、当日はＡＥＤを用意します。

～ 競 技 方 法～

１）選手は４名とし､補欠は２名まで登録可能とする｡選手交代はセット毎に自由に行うことができる。ゲームは各チーム４個のストーンを使用する。

２）コートは２０ｍ×３ｍのテープを氷上に区画し、送球マットは中央に置く。

３）標的はコート内１０ｍ～２０ｍ以内に送球位置から投げる。標的は２回まで投げることができるが、２回とも失敗したときは先攻権が移動する。

４）決勝トーナメントのみ投石者は審判が次のストーンを投げるチームを宣言してから 30 秒以内に投げなければならない。

５）足をはみ出して投げられたストーンは無効とし即日撤去とする。
※対象は両足とし片足でも無効。

６）投石時にマットが剥がれた場合のみ、投石結果を見て競技場の整備終了後にチームの代表者はやり直しを要求することができる。ただし、標的がコート外に出た場合はやり直しはできない。

※ やり直しは各選手１回まで、セット毎でリセット。
使用するストーンはコート内に影響を与えた場合は、自チームで最も標的に近いストーンを使用する。影響がなかった場合は、同じストーンを使用する。

７）コート内には審判以外入ることはできない。また、指示はコート外から行うこと。

８）標的及びストーンは腰より高い位置から送球してはならない。即ちアンダースローで滑らし、送球後倒れたストーンはセット終了までそのままの状態で置く。

９）ストーンの形や重さ等による不公平を防ぐため、セットごとに色分けしたストーンを交換する。１セット目に赤を使用したチームは２セット目は青を使用する。

１０）標的にストーンを最も近づけたチームは相手方が更に近づけるかストーンを使い終わるまで送球する。

１１）双方のストーンが標的に対して同等距離になった場合は、後に近づけたチームが続けて送球することとする。また、セット終了後同等距離の場合は、それぞれのチームに各１点を与える。

１２）ゲーム中、標的をコート外にはじき飛ばした場合、そのセットは終了とし相手チームに２点又は相手チームの残っているストーンの数いずれか多い方が得点として与えられる。

１３）得点の計算は、両チームのストーンをすべて送球し終わった後、標的に最も近いストーンのチームが相手チームの標的に一番近いものよりすべて得点となる。　（１個につき１点とする）

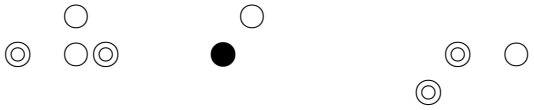
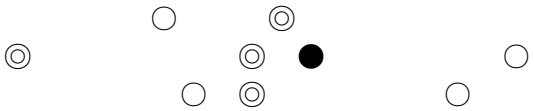
１４）セットに勝ったチームは引き続き先攻権を得、ゲームを続ける。

１５）予選リーグ・決勝トーナメントは、１試合あたりの制限時間は１５分とし、７点先取または制限時間終了時点での得点数により勝敗を決める。（終了時同点の場合、ヴィクトリースローを行う。）

※ヴィクトリースロー
・ヴィクトリースローの際はパック、ストーンを場外に出す。
・投石者同士でじゃんけんを行い、先行後攻を決める。
・ヴィクトリースローは各選手１回まで。
・先行が投げたストーンはセンターラインからの距離を測った後、場外に出す。
・ヴィクトリースローで投げるストーンは最終セットで投げた色のストーンを使用。
・計測する距離は、投石されたストーンとセンターラインとの最短直線距離とする。

１６）決勝戦、３位決定戦は時間無制限の９点先取により勝敗を決める。

（例）

セット数	ストーンの位置	得点の計算方法
第１セット		○チームは◎チームよりも標的●に１個近いため　○チームが１点
第２セット		◎チームは○チームよりも標的●に３個近いため　◎チームが３点

上記の例では…

第２セット終了までの得点は１対３で◎チームが勝っていることになります。このまま、セットを繰り返し、先に７点を取ったチームが勝ちとなりますが、時間制限の場合は、そのセットも含めた得点にて勝敗を決定します。